



学校だより

上小岩



令和8年 9月 1日

NO.5

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司



夏の元気で、2学期も！

校長 宮本 知司

夏休みの始まりの頃。朝6時半を目指して続々と神社境内へと向かうかみっ子(中には小さな弟や妹を連れた姿も…)にたくさん出会いました。「今日も頑張って早起きしたんだね!」と、一人一人の爽やかな顔に声をかけたくなるような光景でした。いつもより少し早起きした朝は、きっと一日が長く感じられたことでしょう。(加えてそれぞれの会場では、出席印を押したり、前に出てお手本となったりと、人のために一生懸命尽くす子供たちがいたことも、町の方々から教えていただき嬉しい思いをしました。)

“暑い暑い夏”の間、それぞれの自治会・町会で開催される盆踊り、緑陰子供会、子供縁日などの場には、今年もたくさんのかみっ子の笑顔がありました。家族や友達、町の方々とはひと時の楽しい時間を過ごし、かけがえのない夏の思い出の1ページを作ることができたことでしょう。町の方々のお力でたくさん楽しませていただいた子供たちが、いつの日か大人になった時には「地域の若き力」として、この愛する町を支えていってほしいと願います。



比較的自由な時間がとれる夏には、私は毎年愛車のハンドルを握り、全国各地を巡ることを常としています。(沖縄県だけはレンタカーでしたが、47都道府県、車で走ったことがない地はありません…)この夏は仕事や家庭の都合がつかず、あまり長期間の旅・遠隔地への旅は控えましたが、それでもいくつかの旅に出て、様々な刺激を受けて見聞を広めました。その中の一つ、山形県の山形市を訪れた時のことです。日本100名城の山形城は、天守閣などの建造物こそありませんが四方を囲む大きな堀と石垣の広大な城郭を誇り、「さすが、戦国の名将最上義光が築いたお城だ」とその堅牢な造りに驚かされました。太平洋戦争時の空襲を免れたという幸運もあり、整然とした山形市内の街並みには多くの歴史的な建造物も残り、内部を自由に見学できる場も多くありました。立ち寄るどの場所でも、観光客である私たち夫婦を温かい笑顔で迎え、丁寧に説明をしてくださる方がおり、“郷土山形”への誇りと大きな愛情を感じることもばかりでした。「自分の住む町、関わる町を大事にする思い」は、私を支える柱ともなるものですが、知らない町の空気を吸い、そこに住む方々と話をするたびに改めて自身のそんな思いは強くなります。

いつもの年より少し長い45日間の長い休みでしたが、「みんなの子供をみんなで育てる」のお気持ちで町の方々や保護者の皆様によって、今年も本校の子供たちは「安全に楽しく過ごす夏」であり、「たくましく育つ夏」であったことに深く感謝申し上げます。

一年間の中で子供たちが最も大きく育ち、伸びる2学期。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

- ◇ 昨年9月にもお伝えをした「全国学力・学習状況調査」(全国の6年生が挑戦します!)の結果が出ました。ここ数年着実に上昇を続けていた本校の平均正答率ですが、今年は算数・国語ともに全国上位の東京都の平均値をも上回る数値となりました。地道に学習を重ねるかみっ子の“日々の努力”に拍手です!
- ◇ 熊本での大きな震災に驚いた夏の初めでしたが、その後も列島を東から西へと逆走する台風、千葉県をはじめとする多くの地域での局地的な豪雨による浸水と続き、夏の終わりには真夜中の大きな揺れ、西日本での渇水…と、自然の脅威にまさに踊らされることばかりでした。被災された方々へお見舞いを申し上げますとともに、前例にとられないことなく「これまで以上に気持ちを引き締め、子供たちの命と安全を確保した学校経営に向き合っていかなければならない」と、思いを新たにします。